

---

# 同人誌『いつ・あ・すもーるわーど！』本文サンプル

ひろにか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

同人誌『いつつ・あ・すもーるわーるど!』本文サンプル

### 【Nコード】

N9878P

### 【作者名】

ひろにか

### 【あらすじ】

15日まで通範中の『宇宙をかける少女』二次小説同人誌のサンプル版。最終回後、姉妹五人がコロニーたちと暮らす獅子堂家。しかし風音+高嶺と神楽につまらない理由で喧嘩が勃発、巻き添えをくらう妹二人。目の前の危機に、秋葉とナミの關係に変化の兆しが。そして騒動の余波は、間接的にいつきとほのかにまで及ぶことに・・・

（前書き）

冬コミの時期に合わせて作った同人誌の一部を抜粋したものです。  
通販で15日まで受け付けております。詳細はこちら <http://ameblo.jp/hironika/entry-10753848315.html> に。  
（追記：受付終了しました！）

「オッス、みんな元気〜?」

そもそもの発端は、入院中のはずのこの人の訪問だった。

「あれ、神楽さん?」

意外な来客に疑問の声を漏らす三女・秋葉。

少女とよく似た顔の女性は、にこやかに言った。

「おみやげ、持ってきたわよう」

その手にあるのは、五段重ねの豪華な重箱。

何事かと、外出中のナミを除いた姉妹四人とイモちゃんが集まってくる。

「中身は何ですか?」

「決まってるじゃない、ナポリタンよ」

「い、入れ物とゼンゼン合ってないんですケド・・・」

「しかも全段びつちりと・・・」

「仲良くみんなで分けなさいね」

蓋の中の異様な光景に気圧される秋葉とイモちゃんのことなど気にも止めず、神楽はのん気にのたまった。

「ただいま・・・」

そこに帰ってきた四女。

引きこもりからは脱したものの、いまだに外は苦手だ。言いつけられた用事を片付け、すぐさま戻ったのだが・・・

（うわ・・・アタシ、マズいタイミングで帰ってきちゃった・・・?）

真っ先に、そんな感想が脳裏に浮かぶのも無理はない。

重々しい黒塗りの重箱からよろよろ出てくるヒモ状のものと、それに食いつく妹。

それを囲む、微妙な笑顔を浮かべた姉たち。

極めつけに、どうにも苦手な先祖だという女。

（寄り道でもしてくるんだった・・・）  
そう後悔しても、既に手遅れだった。

\* \* \* \*

そんな周囲のことは意にも介さず神楽は続ける。

「この間、生まれたばかりの赤ちゃん連れた女の人が院内にいてね、頼んでその子を抱っこさせてもらったのよー」

「わあ」

羨ましそうな声をあげる秋葉。

面倒見がいいかどうかはやや微妙なこの子も、一応は女の子である。それとも、イモちゃんとのことを考えると、小さいものは好きなのかもしれない。

「かわいかったのよー。手なんか、こんなにちっちゃくってね・・・」

「」

「いいなー」

（ち・・・ちよつと待った！）

楽しそうな姉をよそに、ナミは突如危機感を覚える。

止まれ、と脳内で警鐘が鳴り響く。

が、哀しいかな、そんなものは誰にも伝わらない。会話は続く。  
「アタシね、あれくらいの子ってあんまり接点なかったんだけど、心が和むわねー」

「わー、アタシも見えたかったなあ・・・」

（マズい、何かわかんないけど、この流れは良くない気がする！）

「あ、秋葉ちゃんもそう思う？」

「はい！」

（止まるのよっ！ 秋葉あ！）  
だがかし。

「笑ったりすると、すごくかわいいですよね」

止まらなかった。

やむを得ず、力づくで止めに入ろうとするナミだったが。

「ナミナミ！ 桜も抱っこっこっ！」

「ちよっ、桜っ？」

無邪気な妹よるインターセプトに潰えた。

そして神楽が、決定的な一言を口にする。

「じゃあ、おねえちゃんに産んでもらおっか！」

\* \* \* \* \*

「あれ、いつきちゃん・・・？」

「すみません、起こしてしまいまったようですね」

そう言ういつきに秋葉はまだぼんやりしている眼差しを送って、  
一人言のように言った。

「あ・・・若くなってる・・・」

「はい？」

自分たちは同い年なのだが。

それに「なってる」って何だ。

寝ぼけているのだろっが、それにしたって意味不明の言葉にいつ  
きは戸惑うしかない。

んー、と秋葉が伸びをする。どうやら目が覚めてきたらしい。話  
が通じそうな雰囲気を感じたいつきが先の言葉の真意を尋ねようと  
したが、秋葉が口を開く方が早かった。

「何かねー、ユメ見ちゃった」

「夢・・・ですか」

繰り返すいつきに秋葉は「うん」と頷き、素直に「それは、どん  
な？」と聞きたそうな顔をする友人にぼつりと言った。

「なんて言うかねー、へんなユメ」

「変……?」

秋葉は再度、「うん」と頷いた。

身体が自由に動くことを、そしてその感触を確かめるかのようにゆつくりと首を動かす。

それは、先の光景が現実でないことを噛み締めるようにも見えた。この場所に己が存在していることを確かめているようでもあった。じつくりと時間をかけて頭を元の位置へ戻して、秋葉は口を開く。

「アタシがね、死んじゃった世界の夢」

それが、先ほどまで彼女がいた世界だった。

（後書き）

前半がナミ目線、後半がいつき目線、秋葉は主人公で全編にわたって登場。ほのか、イモちゃん、レオパルドはオチ担当（笑）。出番の配分はそんな感じの本です！。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9878p/>

---

同人誌『いっつ・あ・すもーるわーんど！』本文サンプル

2011年10月8日03時48分発行